

## 1 アンケート調査の概要

「住民自治によるまちづくり」を推進するうえで、自治連合会等の地域でまちづくり活動を行っている団体の皆さんが地域活動についてどのような意識を持ち、どのような要望を持っているかを調査することは重要である。そこで、「住民自治によるまちづくり」の機運を高めることを目的に市内 22 か所で行った「まちづくり集会」の参加者を対象に、最終頁資料のとおりアンケート調査を行った。アンケート結果の概要は次のとおりである。

実施期間：2013年9月15日～10月20日

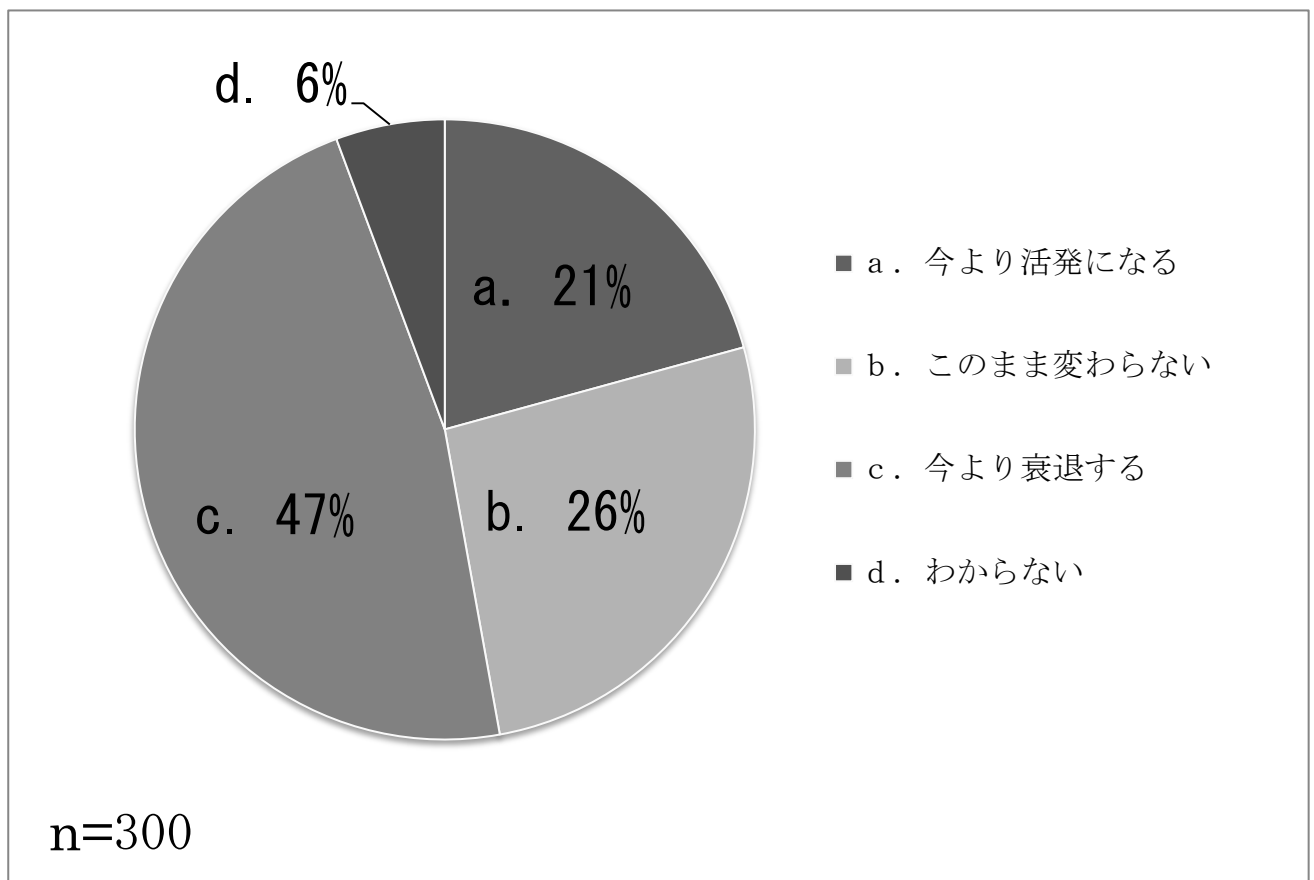
配布対象：まちづくり集会参加者（自治連合会、小・中PTA、連合婦人会、  
商工会、老人クラブ、地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会など）

サンプル数：316人配布、内300人回収、回収率94.9%

まちづくり集会の開催地区：市内22地区【本庁管内4地区、総合支所管内4地区、  
支所管内12地区、離島2地区（蓋井島、六連島）】

## 2 アンケート結果の分析

① 今後、10年間で住まいの地域活動はどのようになると予測されますか？1つだけ選ぶ。



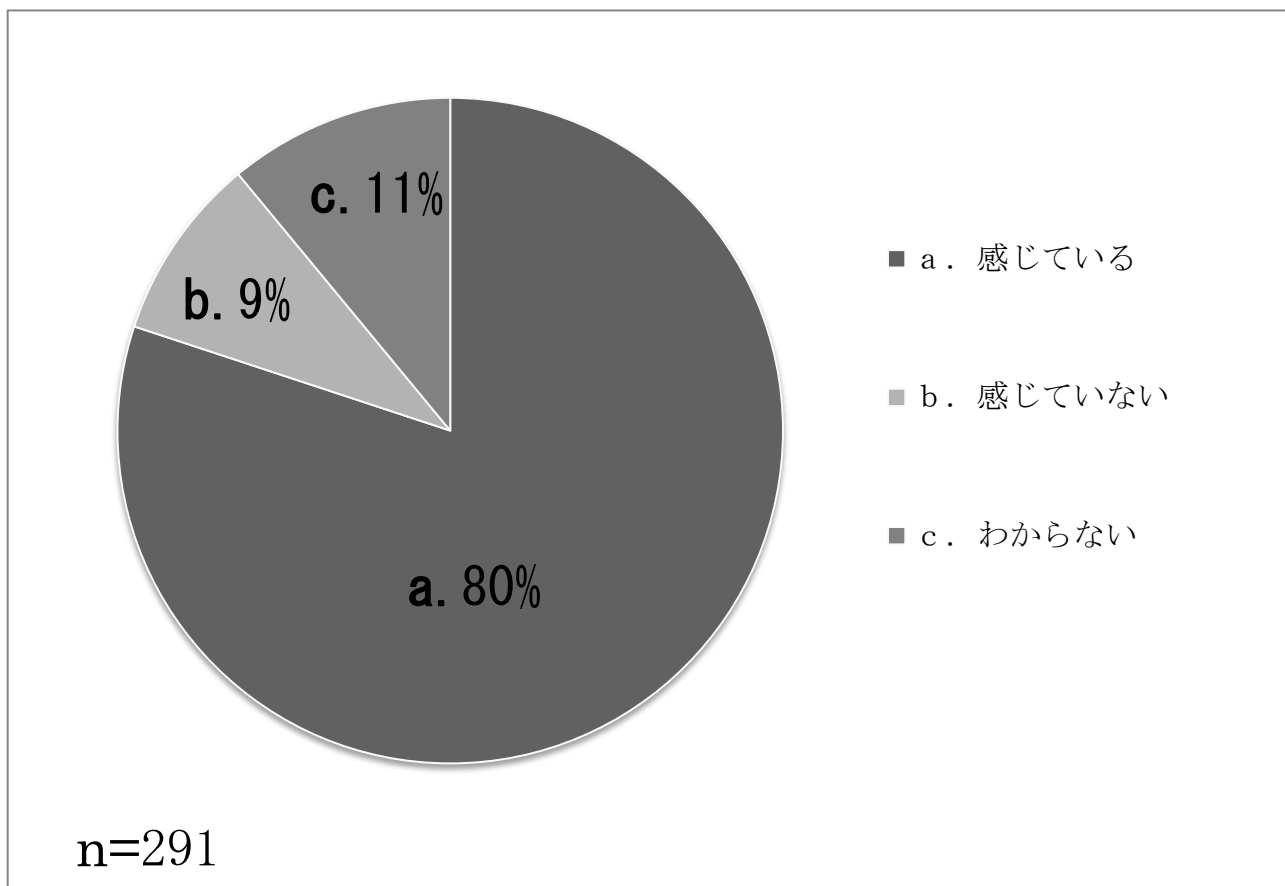
「今より衰退する」が141人（47%）と最も多く、次に「このまま変わらない」が79人（26%）、「今より活発になる」が63人（21%）である。10年後を想像した場合、半数の人が「今より衰退する」と回答しており、将来的には不安を感じていることがうかがえる。地域別に見ると、豊田、吉田、吉見、小月、本庁西部、本庁北部、豊北地区等で「今より衰退する」の割合が高くなっている。

一方、「今より衰退する」よりも「今より活発になる」と回答した人の割合が高いのは王司、勝山地区である。両地区の特徴としては、市全体で人口減少が進む中、ここ最近のデータでは人口が増加しており、かつ、65歳以上の年齢の人口比率が低い地区である。

	地区名	1. 今後、10年間で住まいの地域活動はどのようになると予測されますか？ 1つだけ選ぶ。				合 計
		a. 今より活発になる	b. このまま変わらない	c. 今より衰退する	d. わからない	
1	豊田	1	2	11	1	15
2	菊川	2	2	7	1	12
3	吉田	1	3	9	1	14
4	王喜	3	6	2	2	13
5	川中	4	4	4	1	13
6	清末	3	6	7	0	16
7	王司	9	5	3	1	18
8	長府	4	4	4	1	13
9	吉見	0	4	10	1	15
10	安岡	5	6	1	1	13
11	内日	4	3	10	1	18
12	勝山	9	3	1	1	14
13	小月	0	2	11	1	14
14	彦島	2	6	8	1	17
15	本庁西部	1	2	10	0	13
16	本庁東部	2	3	3	0	8
17	六連島	0	6	5	0	11
18	蓋井島	2	2	3	1	8
19	本庁北部	1	3	13	0	17
20	本庁中央部	4	2	5	1	12
21	豊北	1	3	8	0	12
22	豊浦	5	2	6	1	14
<b>総合計</b>		<b>63</b>	<b>79</b>	<b>141</b>	<b>17</b>	<b>300</b>

※地区名については、まちづくり集会を開催した順番となっています。

② 今後、地域内にある各種団体（NPO、企業などを含む）が、連携することの必要性を感じておられますか？

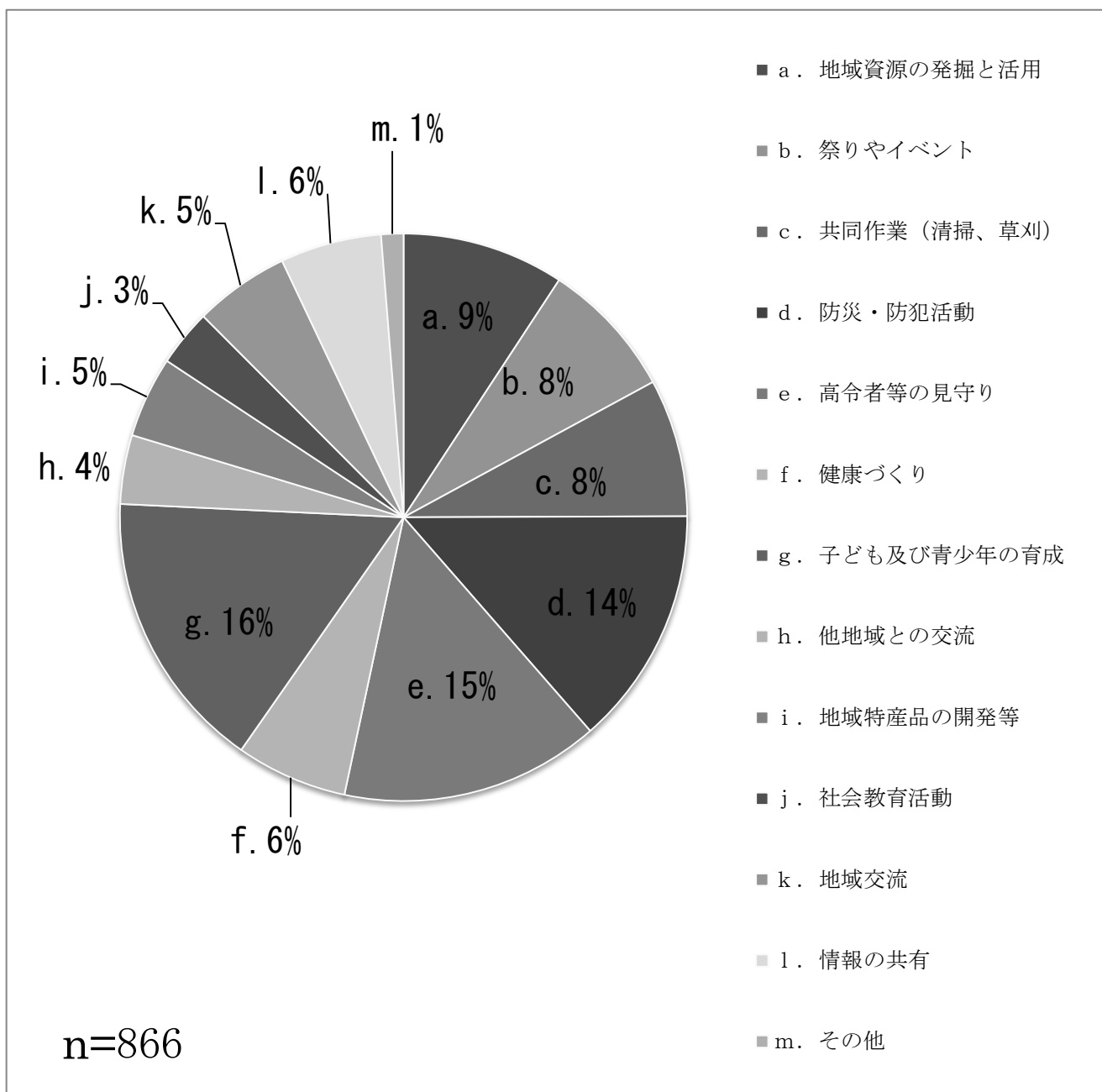


今後の地域活動が「今より衰退する」と不安を感じている人が多い中で、他の団体との連携の必要性を聞いたところ、本庁北部を除いて、連携の必要性を「感じている」と回答した割合が高く、全体で 233 人（80%）となっている。「感じていない」と答えた人は 26 人（9%）である。

今までにも限られた団体との連携した取り組みはあったと思われるが、今後は多様な活動や交流の中から新しいネットワークが形成され、刺激を受けることによって、活動の幅が広がり、新しい人材の発掘にもつながることなど、連携することによる効果は大きいと考えられている。

	地区名	2. 今後、地域内にある各種団体(NPO、企業などを含む)が連携することの必要性を感じておられますか？			合 計
		a. 感じている	b. 感じていない	c. わからない	
1	豊田	12	2	1	15
2	菊川	9	2	1	12
3	吉田	11	1	3	15
4	王喜	9	2	1	12
5	川中	12	0	1	13
6	清末	14	2	0	16
7	王司	15	1	2	18
8	長府	9	2	2	13
9	吉見	14	0	1	15
10	安岡	11	2	0	13
11	内日	15	1	1	17
12	勝山	13	1	0	14
13	小月	13	1	1	15
14	彦島	11	2	4	17
15	本庁西部	9	0	4	13
16	本庁東部	5	1	1	7
17	六連島	9	0	1	10
18	蓋井島	6	0	2	8
19	本庁北部	1	3	6	10
20	本庁中央部	12	0	0	12
21	豊北	12	0	0	12
22	豊浦	11	3	0	14
総合計		233	26	32	291

③ 今後、地域において重点的に取り組むべきと思う事は、どのようなものだと思いますか？3つ選ぶ。



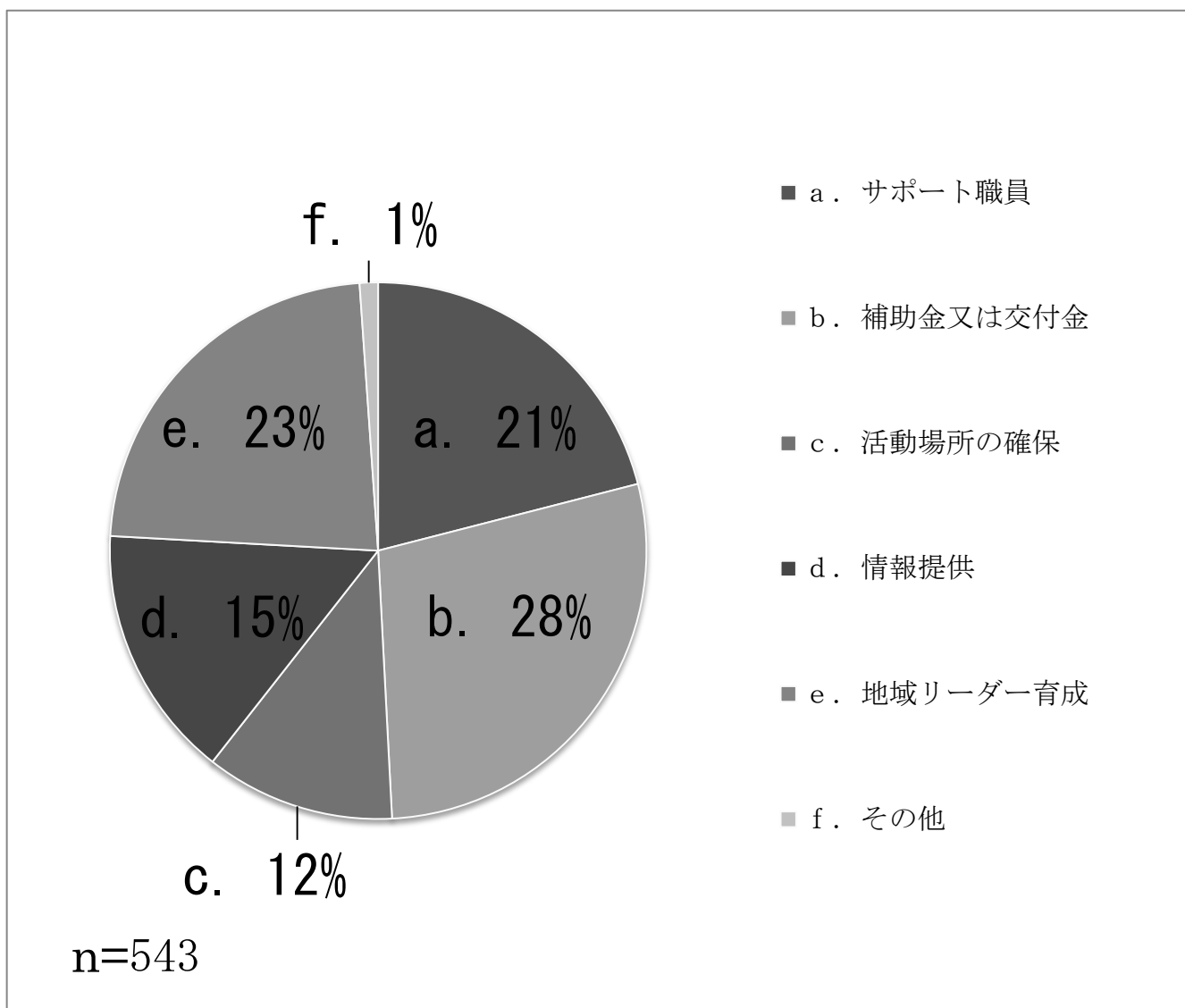
地域における重点的な課題は回答の多かった順では、「子ども及び青少年の育成」が 139 人（16%）、「高齢者等の見守り」が 128 人（15%）、「防災・防犯活動」が 118 人（14%）である。少子高齢化が進む中、将来の子ども達の健全な育成や超高齢化社会を迎える中で、独居老人や高齢者の 2 人暮らしなどの見守りが重要な課題として取り上げられており、「防災・防犯活動」と共に安心、安全なまちづくりが求められている。

その他では、「地域資源の発掘と活用」や「祭りやイベント」、「共同作業（清掃、草刈）」などの地域の活性化に関する項目も重要と考えられている。

また、地域独特の課題として、吉田、王司地区では「地域交通」が、六連島、蓋井島地区では「地域特産品の開発等」の回答も多くあげられていた。

地区名	3. 今後、地域において重点的に取り組むべきと思う事ほどのようなものだと思われますか？ 3つ選ぶ。													合 計
	a. 地域資源の発掘と活用	b. 祭りやイベント	c. 共同作業(清掃、草刈)	d. 防災・防犯活動	e. 高齢者の見守り	f. 健康づくり	g. 子ども及び青少年の育成	h. 他地域との交流	i. 地域特産品の開発等	j. 社会教育活動	k. 地域交通	l. 情報の共有	m. その他	
1 豊田	7	2	5	4	2	0	7	4	3	4	1	0	2	41
2 菊川	2	2	0	5	4	7	10	2	2	0	2	3	0	39
3 吉田	6	3	4	3	5	0	6	1	3	1	7	1	1	41
4 王喜	3	1	1	6	8	5	5	0	2	2	1	2	0	36
5 川中	2	5	5	6	5	4	6	0	0	0	2	3	1	39
6 清末	7	1	4	7	7	2	7	4	4	1	2	2	0	48
7 王司	3	8	2	11	5	1	8	1	0	1	8	4	0	52
8 長府	4	1	2	4	7	1	3	1	2	1	3	4	1	34
9 吉見	3	3	4	6	2	3	3	4	3	0	4	5	0	40
10 安岡	0	3	5	6	11	1	9	1	1	4	0	2	0	43
11 内日	6	3	1	7	5	3	8	4	6	0	2	1	1	47
12 勝山	3	3	2	6	5	1	9	4	1	2	2	4	0	42
13 小月	4	6	1	8	6	4	7	0	0	3	0	3	0	42
14 彦島	2	8	5	6	9	4	9	2	1	0	2	2	1	51
15 本庁西部	2	4	3	6	9	3	3	1	0	1	0	2	2	36
16 本庁東部	2	1	3	2	2	1	4	1	0	2	0	2	1	21
17 六連島	5	2	3	4	4	0	5	1	5	0	1	2	0	32
18 蓋井島	6	1	2	1	3	1	3	2	3	1	1	0	0	24
19 本庁北部	1	3	6	9	11	4	8	0	0	3	2	4	0	51
20 本庁中央部	0	2	4	6	8	3	7	1	0	1	1	2	0	35
21 豊北	6	4	5	2	6	2	3	0	2	0	1	1	0	32
22 豊浦	6	2	1	3	4	5	9	0	2	1	5	1	1	40
総合計	80	68	68	118	128	55	139	34	40	28	47	50	11	866

④ 今後、地域活動を推進していくうえで、特に行政に対して何を求めますか？2つ選ぶ。



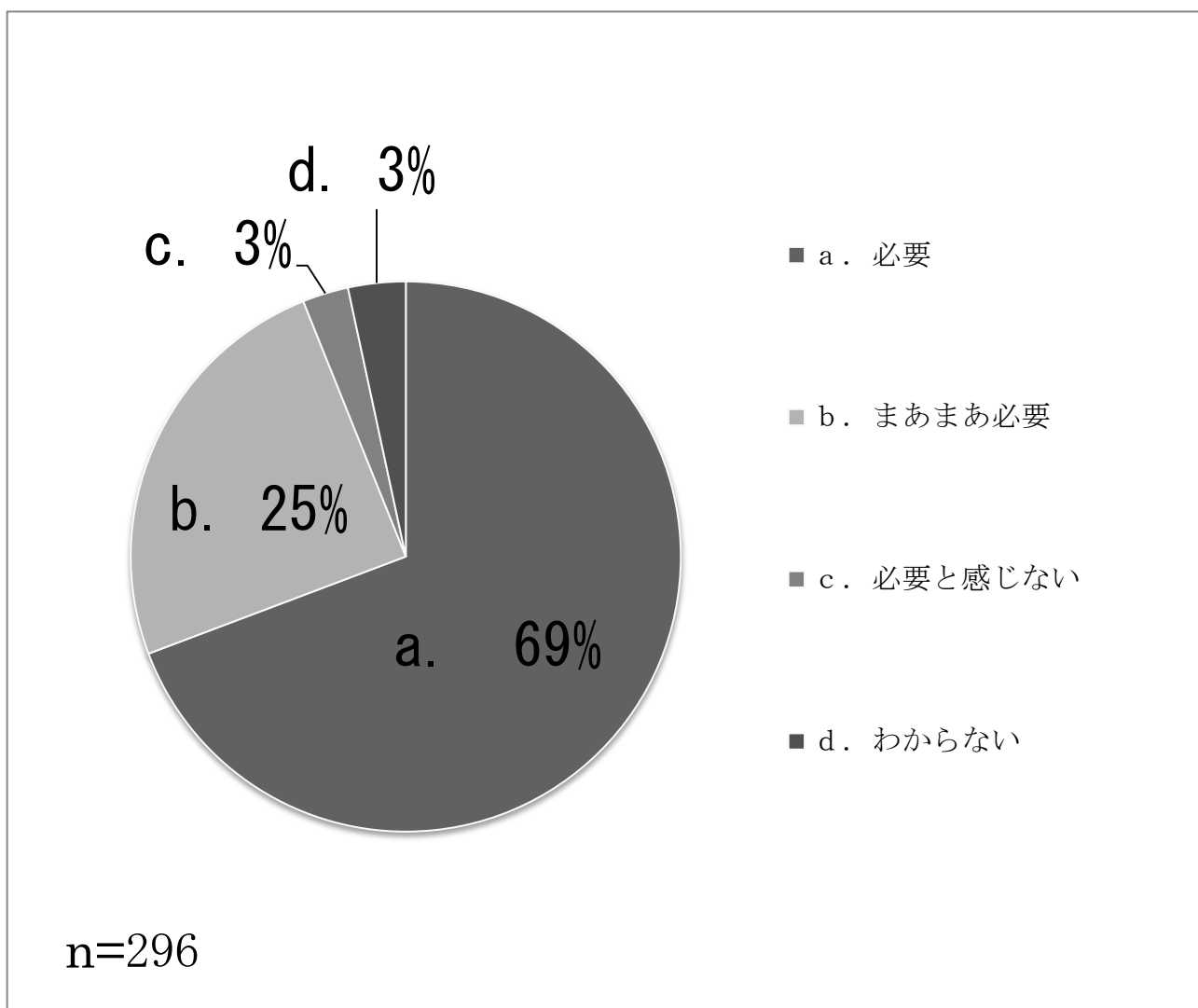
行政に対する求めに関しては、「補助金又は交付金」が153人（28%）と最も多く、続いて、「地域リーダー育成」が125人（23%）、「サポート職員」が114人（21%）となっている。やはり、地域で活動しているまちづくり団体は慢性的な資金不足の問題を抱えていると思われるし、今後の地域活動を推進するには補助金等がないと困難と考える人が多いことがわかる。また、現在の地域リーダーが高齢化していることもあり、今後の地域リーダーを育成することの重要性を痛感しているといえる。

多くの地区で「補助金又は交付金」を求める割合が高い中で、本庁西部、豊浦地区では「サポート職員」を求める割合が高くなっている。また、六連島、安岡、長府、吉見地区では行政からの「情報提供」を求める割合も高くなっている。



	地区名	4. 今後、地域活動を推進していくうえで、特に行政に対して何を求めますか？ 2つ選ぶ						合 計
		a. サポート職員	b. 補助金又は交付金	c. 活動場所の確保	d. 情報提供	e. 地域リーダー育成	f. その他	
1	豊田	6	7	7	0	9	0	29
2	菊川	6	10	0	4	5	0	25
3	吉田	7	8	2	2	5	1	25
4	王喜	4	6	4	3	3	0	20
5	川中	4	8	4	1	8	0	25
6	清末	4	10	6	3	7	0	30
7	王司	6	11	2	3	9	0	31
8	長府	5	4	2	6	6	0	23
9	吉見	6	4	1	6	7	0	24
10	安岡	2	7	3	7	7	0	26
11	内日	9	10	1	4	6	1	31
12	勝山	2	7	2	4	9	1	25
13	小月	3	8	7	5	2	0	25
14	彦島	4	11	5	2	8	0	30
15	本庁西部	10	3	4	5	0	1	23
16	本庁東部	3	3	2	1	4	1	14
17	六連島	3	10	0	6	1	0	20
18	蓋井島	4	6	1	3	1	0	15
19	本庁北部	8	5	3	7	9	0	32
20	本庁中央部	6	3	1	4	7	0	21
21	豊北	3	6	3	3	7	0	22
22	豊浦	9	6	2	4	5	1	27
総合計		114	153	62	83	125	6	543

⑤ 今後、下関市において「住民自治によるまちづくり」が必要と思われますか？



今後の下関市において、「住民自治によるまちづくり」が「必要」と思っている人が 205 人 (69%)、「まあまあ必要」と思っている人が 73 人 (25%) であり、「必要」と「まあまあ必要」を合わせると 278 人 (94%) になる。市内全域で「必要」と思っている人が 1 番多く、「必要と感じない」と思っている人はわずか 8 人 (3%) である。

今後、少子高齢化が進む中で、現在、まちづくり活動を行っている皆さんは将来的に不安を感じ、今のままではまちが衰退するので何とかしなければならないと考えていることがわかる。

	地区名	5. 今後、下関市において「住民によるまちづくり」が必要と思われますか？				合 計
		a. 必要	b. まあまあ必要	c. 必要と感じない	d. わからない	
1	豊田	11	1	3	0	15
2	菊川	9	4	0	0	13
3	吉田	10	2	2	0	14
4	王喜	7	5	0	0	12
5	川中	12	1	0	0	13
6	清末	11	5	0	0	16
7	王司	12	2	1	2	17
8	長府	9	2	0	1	12
9	吉見	9	3	1	1	14
10	安岡	9	3	0	1	13
11	内日	13	3	0	1	17
12	勝山	10	4	0	0	14
13	小月	11	3	0	1	15
14	彦島	9	6	1	0	16
15	本庁西部	6	7	0	1	14
16	本庁東部	5	3	0	0	8
17	六連島	9	1	0	1	11
18	蓋井島	5	2	0	1	8
19	本庁北部	9	7	0	0	16
20	本庁中央部	9	3	0	0	12
21	豊北	8	4	0	0	12
22	豊浦	12	2	0	0	14
総合計		205	73	8	10	296

## ◎まとめ

今後 10 年間の地域活動はどのようになるかという問いに「今より衰退する」と感じている人が最も多かったということは、少子高齢化が進む中で、子どもの数は減少し、高齢者の比率はどんどん高くなっていくことへの不安のあらわれだと思う。そのような状況の中でも、「今より活発になる」と答えた人が 63 人 (21%) もいたということは、今後、地域のために何とかしなければならないという気持ちのあらわれでもあり、期待するところである。

次に地域内にある各種団体との連携に関する問いに、多くの人が「連携することの必要性」を感じている。これまでの活動が団体単独の活動であったり、連携しても固定化された団体との連携などで効果も限定的であったと思われる。新しい組織の中でネットワークが形成され、より活動が発展することもあれば、人材不足の面も解消されるといった相乗効果が生まれることもあると考えられていると思う。

地域において取り組むべき重点課題は何かの問いでは、市民がまずは「安心・安全なまちづくり」を希望していることがわかる。地域の活性化も重要な課題ではあるが、どうしても、少子高齢化の進行による、子どもやお年寄りの見守りは最も重要な課題となっている。

また、「健康づくり」を重点課題ととらえる人も 6%いることは最近の根強い健康ブームも影響しているのではないかと思われる。さらに、医療の発達等により平均寿命も延び、高齢者が生き生きと暮らせるような取り組みも、今後ますます必要になると思われる。

地域活動を推進していくうえでの行政に対する求めは「補助金又は交付金」が最も多く、市としても、財政状況が厳しくなる中で、補助金の見直しをするなど財源の捻出に努めていかなければならない。また、「サポート職員」についても要望は多く、職員数が減少している状況であるが、地域担当職員制度等について、効果的な配置等の検討が必要である。地域リーダー育成に関しては、行政と地域が協働で取り組んでいかなければならない。

最後に、「住民自治によるまちづくり」の必要性については、「必要」と「まあまあ必要」と思っている人が94%いるということは、現在、まちづくり活動をしている皆さんが現状に危機感を感じ、今後の取り組みに大いに期待しているといえる。

今後の課題としては、「住民自治によるまちづくり」に関して、地域に十分理解してもらうため、行政が検討課題を慎重に検討し、市民と地域と行政の役割分担や行政が地域に対して、どのような支援ができるかを具体的に示していく必要がある。そして、地域が自主性と主体性をもってまちづくりに取り組めるよう市としても環境整備を行い、市民と地域と行政がお互いの役割と立場を尊重した参加と協働によるまちづくりを目指していかなければならない。

※「住民自治によるまちづくり」について、どのようなご意見をお持ちですか？ご自由にお書きください。（原則、原文のとおり記載しています。）

#### 【豊田地区】

- ・地域に活動力をふるうのではなく、行政のリーダーシップをはっきりしてほしい。
- ・無駄
- ・生活している者が「住みたくなる」町づくりを目ざして知恵を出し合いたいと思う。（故郷はなくしてはなりませんから。）
- ・豊田中学校区ふるさと協育ネットを町づくり協議会へ入れて下さい。
- ・豊田町はIT環境を整備することによって地域づくりが促進される。
- ・コーディネーターこそ重要。
- ・広く町民の意見を聞きたい。
- ・また行政が住民にまかせきりにするみたいで、内容が良くない。もっと考えた内容が必要でないか。
- ・物事に対する権限の委託をして欲しい。
- ・若者が町内に残れる産業の確保。林業の強化、荒れた山、管理されていない山が多い。
- ・林業での雇用を増やす。
- ・農業の利益UPで、魅力ある農業を…農業年収が低い。農地の年間通しての利用方法。
- ・自主性の研究（特に自主防災組織の確立）自分達の町は自分達で守る意識向上が重要！

#### 【菊川地区】

- ・地域の活性化は住民だけでなく行政の力が必要である。なのに職員を減らすことで合併時と同じように地域の元気が無くなる。必要な公共サービスの提供を地域に依存。
- ・各団体での事前会議・打ち合わせが必要。
- ・各組織はそれぞれで活動しているが、それ以上の活性化を求められていると思いますので、町作りとして、考えていきたいと思います。菊川は農業が元気にならなければ。
- ・まず行政が本気で取り組むことにより、次に住民におおろしていくことだと思ふ。
- ・問題解決にはこの様な会合を重ねていく必要あり。
- ・地域で考え行動して行くことが必要（地域の婦人会、老人会、若者の会に加入して）
- ・下関市防災マップ、災害時の情報伝達経路の図式はあるが、市民に実際に知らせたら。

#### 【吉田地区】

- ・まず家族（世帯）づくりから、周りを見ても次世代（跡継ぎ）が結婚せず、又外へ出たまま帰らず。
- ・65才以上が33%（生産人口58%）いることから、65～75才位がまちづくりスタッフの中心になるべき。しかし吉田では仕事や趣味を持つ人が多く、ボランティア等でこれを阻害されることを嫌う傾向がある。これを協力体制に持つべき。個人の為のものの一部を公の為に！
- ・住民の雑談（井戸端会議）の出来る場所が必要。1人住まいの人で話をしない人が多い。
- ・実行性ある行政指導を願う。
- ・地域住民が現状課題をまず十分に共有しあうこと。そこから様々なアイデアが生まれると思う。
- ・NPO法人に対し、補助金を出す（交通・介護・その他）

### 【王喜地区】

- ・地域住民の協働と協調性が必要。
- ・行政の支援も一助に。
- ・王喜地区においては年間を通して様々なイベントが行われている。
- ・今後、王喜地区の特長でもあるホテルの推進、木屋川付近での整備をお願いしたい。
- ・本日は貴重な意見があり参考となった。
- ・子育て中の保護者同志の情報交換の場づくり。高齢者の方が近所でおしゃべりの出来る場づくりを今後は検討してほしい。

### 【川中地区】

- ・地域に市の職員が住まれているならば、その方達を中心にして、地域の活性化を進めてほしい。地域のリーダーは高齢者が多く、次のリーダーの育成が出来ていない。そこに市の職員がお手伝いして下さると助かる。地域でノミニケーション（飲み会・食事会・決して高額ではない。1コイン）で何でも話し合える環境づくりを自治会単位で考えていかなければと思う。
- ・若い人材の育成が是非必要。（若い人の発想がほしい。）
- ・環境づくりが必要である。
- ・定住している若者世代を巻き込んだまちづくりが必要と思う。でないと町の活性化はないと思う。
- ・テーマが漠然としています。
- ・別途 インターネットの活用も考慮すべきと考えます。
- ・若い人を多く参加させる活動をすべき。自治会と他の団体の連携を密にすべき。
- ・新しい地区（新棕野等）の自治会づくりのサポート（市として）が必要と思われれます。

### 【清末地区】

- ・住民が自治会活動に理解を示すことが難しい。
- ・切り口として、まちづくり会議に自由に参加させて、自由に意見を聞く。
- ・指導者に依りステップに基く定期的に他地区共同での改良を進める。
- ・建前ばかりで絵に書いた餅で終わってしまう可能性が高いと思われる。
- ・今後の活動に参加出来る様に頑張りたいと思います。
- ・行政のサポートを基に、地域が独立して（権限をもって）栄えていけるようなまちづくりをお願いします。
- ・地域に目を向ける、関心を持たせる人づくり。
- ・できるだけ、多くの皆さんに参加していただきいろいろな立場から、意見を伺いたいものです。
- ・自治会をベースとすべき（2年～3年周期で人が変わる）
- ・まちづくり組織（スキルの高い人材育成）→3名程度固定した人材を育成すべき。地域の核となる人材。
- ・防災、防犯活動などが各自に伝わるようにお願いします。

### 【王司地区】

- ・「住民自治によるまちづくり」の意図は？
- ・子ども及び青少年の育成。
- ・地域リーダーの育成が必要。
- ・まだ入っていない組織の方にも入ってもらいたい。
- ・中学校から高校へ進学する際、王司地区から進学する高校へのアクセスが非常に悪い。バスでは費用が高く負担となっている。JRの駅が近郊にあれば助かる。
- ・10年後の王司はどうありたいか？のコンセプトをきっちりすべき。
- ・問題点を縦割りにしているのは市側ではないか？
- ・市が、やったという事実が欲しいだけと思われる。
- ・王司地区は現在同じような活動をしているように感じていますが、新しく同じ団体を作るべきか？誰が代表者になるか問題でしょう。
- ・まちづくりの中長期的な計画の立案、実践、検証 どころが、どのように。
- ・災害時の避難場所の方法の徹底が必要。
- ・今日の話合いを市はどう活用されるのか。地域住民の要望を聞く場の方が良いように思う。
- ・権限と予算の移譲がないと、現在の各団体からの陳情と変わらない。

### 【長府地区】

- ・子育てママが住んでいてよかったなと思う町であつたら良いなと思います。
- ・長府地区まちづくり（協）は既に存在しております。今回の会議は同じ目的で組織されると思いますが、是非発展に寄与するものであることを望みます。
- ・住民自治に関する認識はありますが、行政の役割をどうするのかを明確にすべきと思う。
- ・6についての意見として、各団体がそれぞれで一つになりにくい。大きな災害が有れば高齢者はどうなるのか不安！各地区のリーダーがどれだけ確認してもらっているか？長府地区にも福祉館が有れば高齢者の寄る所が出来るのでは。
- ・PTAが中心となって地域活動を行うという意見もあったが、PTAも役員がどんどん変わっていくので難しい面がある。また東部地区は生徒の減少が激しく、クラブ活動もきびしい状況なので、歴史地区とは全く異なる状態です。しかし「ふるさと祭り」や「東部地区文化祭」は中学校も参加しており、地域活動になっていると思う。
- ・リーダーの育成が最も大切と考えます。住民がまちづくりに参加するのにそんなに大きなことではなく小さなことから参加できる情報と提供とそのしくみが大切です。
- ・人口流出を止めるべき、中小企業政策（子供達の働く場所）の推進。
- ・まだまだ議論そのものが成熟していない。回を重ねることが大事！！



### 【吉見地区】

- ・若者がもっと交流できる行事や場所を作ることが必要。
- ・住宅地の造成（調整区域の解除）。
- ・町づくりの成功例（全国）を紹介してほしい。
- ・推進の組織づくりをまず先に進める必要がある。
- ・具体化するもの ①地域内の人材（特に中年・若年層）を中心に「まちづくり推進協議会」を設置し、行政等の指導も得ながら、まちづくり行動計画の策定実施。
- ②生活環境点検マップ等を作成し課題の明確化。住民の改善向上意識の推進（ステップ1）。
- ③従来の役職のみに（肩がき）にこだわらない（やる気のある人）、人材発掘（学識経験者等）。よりよいリーダーの決定を望む。
- ・平素から住民同志の（交流）がほとんどない。
- ・まちづくりの基準をどの様に抱えるか。産業、スポーツ、環境、何れも独自に街づくりとしての考えは成り立つ。派生的に問題の解決を生ずることもある。地域リーダーの養成と共に、行政指導が要。地域（範囲）の捉え方も重要。
- ・基礎的な情報提供 1. 住民台帳 2. 土地台帳 3. 家屋台帳等の公開
- ・保育園や小学校、中学校の職員の方も会議に参加してほしい。他の見方から地域の問題点がみえてくると思います。

### 【安岡地区】

- ・活動の場所の確保をお願いします。
- ・各自治会で福祉活動（福祉委員会）を活発にしていけるべきと思う。
- ・下関市が世界の中で、日本の中でどんな街になるのか共通の目標がない。それぞれの都合もあるが地域の役割、大きくも小さくも、住人が共有することが大切。
- ・事務局要員の支援。
- ・ふるさとまちづくり推進協議会の集まりが、月1回程度あったら良いと思います。
- ・教室と文化活動。
- ・個人情報把握が必要。必要としている人の内容を把握し、何をサポートしてあげれば本人が助かるのか、必要なものを必要としている人にサポートする為には、個人情報把握する必要がある、町内での各役員と会議を重ね、より良いものにするために情報の共有化を図ることが大切。

### 【内日地区】

- 子ども1人ひとりにかかる権利は皆同じなので、児童クラブが人数制限で設置されないのはおかしいと思います。幼保一体化も求めたいです。
- 内日事業を起こすには、土地、人口、予算が必要となって、今はどう考えていくかわからない。
- 企業誘致をしていただいて、住宅を建て、人口を増やして子供の数を増やしていただきたい！
- 私は内日地区外に住んで居ますが、内日地区は住民の方々が、協力的で自分達で出来る事に積極的に取り組んでおられます。仕事をしながら、子育てをしながら、時間を一生懸命つくって努力しています。今回のお話を聞いていて、これ以上仕事を増やすのだろうか、正直感じました。行政がすべき事を、地域住民に押しつけている様に感じます。何をするにもお金がかかりますが、投資なくして発展はないと思います。環境を整えて初めて、「住民自治によるまちづくり」が成り立つのではないのでしょうか。
- 市営住宅の整備。
- サポート職員を通じて、話し合い（集会）の継続・前進する為のサポートを進めて行かないと、このまま立ち消えとなってしまいうでしょう。
- この集会に出席して、かなり驚いた。市側と地域住民の意思の疎通が、全く図れていない。情報提供の不足か、情報が少ないせい、この集会の意図が全く伝わってなく、お互いちょっと訳のわからない集会でした。「地域の住民によるまちづくり」というお題が難しいのでは？具体的でない。Fさんの意見はご理解された意見でした。
- 出来ないから市に頼っている感じ。何の企業？、エコ企業って何？、具体的でない。地域性に合った企業誘致が出来たら下関はすごいです。
- 自分が住みたいと思えるように、自分ができる小さなことからはじめたいと思います。
- 地域と市（行政）のパイプ役は支所だと考えますが、今後、行政側の担当者は変更がないようにすることを望む。

### 【勝山地区】

- 組織の分散化の解消 いろいろな会議・組織がそれぞれに話をしていて、力が分散してしまうこと。→組織の1本化（行政のリーダーシップが必要）
- 若い方々の意見を取り入れ、自治会にも参加させる。若い方々は大変良い勉強になります。
- 地域の後継のリーダーの育成が必要と思う。
- 自治会が主体的に活動する為には、行政の協力・アドバイス等が不可欠。
- “住民自治によるまちづくり”には、地域住民の教育（地域教育）も必要かと考えます。

### 【小月地区】

- ・小月駅前の開発！
- ・難しい。
- ・こんな施設をつくりたい→人が気楽・気軽に集まれる所。飲み食いできる所。きれいでゆったりした、たくさんあるトイレも駐車場もついた施設。
- ・商工会として、町の活性化に寄与する活動をもっと増やし、小月地区各団体と連携協力して、元気のある街を取りもどしたいと考えています。
- ・文化施設がない。活動場所がない（子供たちの場所も）。食事処がない（健全な、皆で集まるような）。
- ・まちづくりと一言でいっても課題は多いと思う。まず自分たちで出来ることからはじめようという意識が必要だと思う。

### 【彦島地区】

- ・高齢化が来ております。老人の活動がないと地域の発展は無いと云われています。老人クラブで今後も頑張ります。
- ・自治会による活発な活動が必要。高齢者が自治会の長をしているがもっと若い人の長が必要と思う。地域の横つながりがもっと必要と思う。
- ・彦島は人と人とのつながりがあるように思います。
- ・彦島に於ける問題は、自治会全体の横の連携と思います。地方自治が一つになって、方向性を持つと良いのではないのでしょうか？
- ・本活動自体には賛成だが、以下の問題を解決しないと計画倒れになると考える。
  - ①財源確保 彦島全体の祭等を企画すると同時に行政支援
  - ②ボランティア活動に参加しない人間の取り組み。本活動がうまくいっている市・町の情報を収集して提供してほしい。
- ・老人見守隊を作る。
- ・財政的予算がないため、住民自治の方でボランティアで活動してくれ！と言っているような感があります。地域分権を進めるならば、予算配分もするべきだと思います。小中一貫校1校では反対です。
- ・自治会の人集め、これが出来ないと自治会は先細りになる。役員の老齢化は止まらない。若い人の定住化はできないか。
- ・交流（世代間）のあり方。市のサポート体制の継続（過去の反省を踏まえて）。
- ・地域と行政の連携が足りないと思いますが。
- ・空地に企業誘致を行い町の活性化を図っていただきたい。
- ・ゴミステーションのマナー違反が多い（他地区の方が車で持ってきてポイ捨てを行って困る。）
- ・老々介護をしている70歳以上の高齢者に、献血手帳のように介護した場合に介助手帳を発行して、印鑑を押してもらい自分の介護の時に使える様にしてもらいたい。介護保険料ばかり徴収されるので、少しでも恩敬があればと思う。（77才ですけどデイサービスや健康体操の指導をしています。）
- ・彦島の観光化を考える。
- ・若い方のボランティア参加活動を願う。
- ・格差社会が世の中のひずみを生み毎日、新聞をにぎわす事件が増えている。年寄りも子供も安心してらせる世の中にするのが行政の最大の任務だと思います。

#### 【本庁西部地区】

- ・今日の会議の事ですが、本題とは少し離れていて今後の取組についてをもう少し深く話し合いたかったです。3年後には何がしてほしいかを目標に各々の意見がほしかったです。
- ・住民自治の区域は最大でも小学校区と思います。活動地域の基礎は自治会と思います。
- ・まずは市としての基本方針等、考え方の説明をし、定期的な会議が必要かと。
- ・市議会議員の活動強化。自治会長のガンバリ。

#### 【本庁東部地区】

- ・役割、責任の明確化をして、ある程度、人の交流ができた（土台）上で、さらにボランティア活動などをすすめていく方向がいいのでは。
- ・私個人の問題ではありますが、ふだん町づくりについて考えておりませんので、事前に資料等をいただけると、もう少し意見をまとめて出せたのではないかと思います。
- ・今後回数を重ね、より良いまちづくりに邁進いたします。
- ・補助金に頼るまちづくりではなく、補助金以外でのサポートが必要だと思う。例えば街の中に職員も入り、問題点を共有して欲しい。
- ・会長の代理で出席したが、良い話と思った。
- ・地域内のコミュニケーションを手助けする。イベント（参加しやすい、年齢に応じたもの）。
- ・若者が参加しやすい（若者が主体となれる）行事の創出。
- ・旧図書館を公民館に活用できないか？

#### 【六連島地区】

- ・花の島、六連島をPRし、本土からの来島者を呼びこみたい。島内でのイベントを企画して、本土の方と島内の方との交流を進めたい。今後ともご協力よろしく申し上げます。

#### 【蓋井島地区】

- ・自治会員の減少により、活動費減少の為、助成をお願いします。
- ・サポート職員をぜひ。
- ・あれやこれやと作業は多いのだが、動ける中間的人口が少ないために、一人にかかる負担の多さを感じている。

### 【本庁北部地区】

- 北部地区にバスセンターを作り、山陽、山陰、彦島とロータリー方法で交通の流れを良くする。又は北部地区で高齢者の病院通いや買物、さらには幼保の送迎等に活用する。
- この地域も例外なく高齢者（独居）が多くなっている。その人達のスポーツによる健康を推進して行く。国民健康保険の支出を少しでもおさえない！
- まちづくりの構想（3年後）は、スピード感がない。
- メンバー構成を考えていただきたい。PTA等（子ども）を多く入れる。
- 中学校区できちんと区割りする。例えば向洋中でも後田町内も入れないとまちづくりにはならないと思う。
- 自治会を自治連合会へ入会させる方法は？
- 自治会を結成させる方法？
- 住民自治によるまちづくりは必要と思いますが、現実には難しいと思うが、なんとかしなければとの思いです。
- 自治会の整備を進めてほしい。
- 事前資料の配布。
- 行政のスケジュールを詳しく立ててほしい。
- 市の町づくり・総合計画策定、まちづくり会議の決定事項、自治会・連合会の決定事項、もしこの三者の方向性が違ったら、どうなるの？
- まちづくり会議の形態について、任意で立ち上げるとのことですが、法的な裏付けが必要であると思います。
- まちづくりが確実に進んでいくためにも、分権を行うには必ず予算を伴うのではないのでしょうか？
- リーダー（年齢、女性や婦人にも参画を積極的にして貰う。）

### 【本庁中央部地区】

- 当町内も高齢者が多く又一人暮らしも増え民生委員の方は苦勞しておられる様です。当町内は、ボランティアの出来る方を募集、参加しております。
- この集会は、年に数回しても良いと思います。
- 世代別人口のバランスをとるための少子化対策。この地域に住む子育て世代に特別給付金を払うなど。
- 大変参考になりました。今少し勉強し、役に立ちたいと思います。

### 【豊北地区】

- あまりにも団体が多すぎると思いますし、機能化していない団体もあると思いますので、豊北町においては、団体はいらなと思います。自治会が基本だと思います。
- 整理が必要と思います。
- ふるさとづくり推進協議会の活動とまちづくり集会での検討について、重なるところが多いし、どちらも良く連携して進める。
- まちづくり会議の設置を今後十分検討したい。
- 将来的には子育て年代の住民が出来るだけ定住する（出来る様な）住民自治に依るまちづくりが望みです。
- 若者が働く場所少ない。
- 若い人が定住するような町づくりが必要である。

### 【豊浦地区】

- 広報活動を広げ、意識の向上に資する。
- 情報の共有について、民生委員は法に依って、知り得た個人の情報を、洩らしてはならない事となっています。高齢者の情報を他団体に知らせる事が出来ません。その他の事なら積極的に協力したい。
- 地域内の小規模商店がなく、多数の買物弱者のための買物自動車…（高齢者）
- 他でされている事例を出してもらえるとイメージがしやすいです。

「住民自治によるまちづくり」に関するアンケート
-------------------------

〇以下の質問にお答えください。

1. 今後、10年間でお住まいの地域活動は、どのようになると予測されますか？  
1つだけ選び〇をつけてください。

a.今より活発になる	b.このまま変わらない	c.今より衰退する	d.わからない
------------	-------------	-----------	---------

2. 今後、地域内にある各種団体（NPO、企業などを含む）が連携することの必要性を感じておられますか？

a.感じている	b.感じていない	c.わからない
---------	----------	---------

3. 今後、地域において重点的に取り組むべきと思うことは、どのようなものだと思いますか？ 3つ選び〇をつけてください。

a.地域資源の発掘と活用	b.祭りやイベント	c.共同作業（清掃、草刈）
d.防災・防犯活動	e.高齢者等の見守り	f.健康づくり
g.子ども及び青少年の育成	h.他地域との交流	i.地域特産品の開発等
j.社会教育活動	k.地域交通	l.情報の共有
m.その他（		）

4. 今後、地域活動を推進していくうえで、特に行政に対して何を求めますか？  
2つ選び〇をつけてください。

a.サポート職員	b.補助金又は交付金	c.活動場所の確保	d.情報提供
e.地域リーダー育成	f.その他（		）

5. 今後、下関市において「住民自治によるまちづくり」が必要と思われませんか？

a.必要	b.まあまあ必要	c.必要と感じない	d.わからない
------	----------	-----------	---------

6. 「住民自治によるまちづくり」について、どのようなご意見をお持ちですか？  
ご自由にお書きください。

--